



10月 3・4・5歳児 クラスだより



国立ひまわり保育園
令和8年10月1日

《 3歳児 もも組 》

- ・園外活動や戸外遊びなどで秋の自然に触れ、興味や関心を広げる。
- ・視覚、聴覚情報から様々なものをイメージし、そのイメージのもとで自由に表現活動を楽しむ。
- ・身近なものの音に興味を持ち、どんな音が鳴っているのか、どんな音があるのかについて観察してみる。

9月は初めて小学校の体育館でのふれあいデーに参加して、ドキドキと胸がいっぱいの子どもたちでしたが、演目は大成功！しばらくふれあいデーの話でもちきりでした。「好きすぎて滅！やったよね」「ふれあいデー楽しかったなあ」と思い出に浸る子どもたちです。ふれあいデー後には、余韻遊びとして、ぶどう組さんと一緒にバルーンを楽しみ、憧れのすいか組さんに組体操を教えてもらい、「自分たちもできるんだ！」と自信に満ちた表情を見せてくれました。最近ではなんでもやってみたい！の気持ちが芽生え、「〇〇の遊びやってみたい！」「絵の具で色を混ぜてみたい！」「こんなもの作ってみたい！」など子どもたちのやりたいことがたくさんあふれている毎日です。

10月は、お散歩に出かけたり、秋の自然に触れたり、子どもたちと相談しながら、楽しく過ごしていきたいと思います。

《 4歳児 ぶどう組 》

- ・絵本やごっこ遊びを通して、物語の世界を楽しみながら、友だちとのやり取りを広げる。
- ・気温や活動に応じて、自分で衣類を調節し、快適に過ごそうとする。

もうすぐ、子どもたちが楽しみにしている秋の遠足です。遠足の行き先が昭和記念公園の「子どもの森」だと知ると、「春の遠足より大きな滑り台があるところだ！」「虫探ししたいな！」と、行ったことのあるお友だちも、初めてのお友だちも、遠足を思い浮かべながら楽しみにする姿が見られています。また、「また一緒に遊ぼうね！」「お弁当食べようね！」と、春の遠足を思い出しながら、秋の遠足への期待を膨らませています。行事前に恒例となっているイベントカレンダーは、今回は“遠足のしおり”として登場しました。毎日一枚ずつシールを貼りながら、遠足の日を心待ちにしています。「前にも行ったことがある」という安心感の中で、秋ならではの自然や季節の変化を感じたり、友だちとの関わりをさらに深めたりできる遠足になればと思います。

≪ 5歳児 すいか 組 ≫

- ・散歩や遠足を通して、交通ルールや公共でのマナーを守る大切さに気が付く。
- ・製作活動を通して、イメージしたものを形にする楽しさを味わう。
- ・安心して自己発揮できる環境を整え、意欲的に生活する。

少しずつ秋の気候に変わりつつある今日この頃。5歳児クラスでは遠足の話で盛り上がりを見せています。「あと何日で遠足なの？」と、9月・10月のカレンダーを見ながら「1、2、3...」「あと〇日か〜！」と数え、日々期待を高めている子どもたちです。

クラスの本棚やホワイトボードには、遠足で行く場所についてまとめた写真を掲示しており、「ここ行くんだよね」「こんなのあるんだ！」と友達同士で話しながら、集中し見入る子ども達。目的地にはプラネタリウムもあり、「星が見られるんでしょ？」「暗くなるのかな？」と楽しみにしている様子です。

そんな会話から、「すいかぐみでもプラネタリウムを作ってみたい！」という声上がり、蓄光シールを使った室内プラネタリウム作りにも挑戦しました。懐中電灯で照らした瞬間、「わあ！」「ほんとの星みたい！」と目を輝かせる子どもたちの反応がとてもかわいらしかったです。

10月も、子どもたちの「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、五感を働かせてさまざまな経験を楽しんでいきたいと思います。

おねがい

- ・日中は暖かいため、半そでで過ごしていますが、涼しい日もあるため、個人カゴへ長袖・長ズボンのご用意をお願いいたします。
- ・衣服・靴など、すべての持ち物に記名をお願い致します。名前が薄くなっていないか、シールが剥がれていないか等、今一度ご確認下さい。また、靴のサイズ等の確認も合わせてお願いいたします。
- ・爪が伸びていると、自分だけでなくお友だちも傷つけてしまう可能性があります。爪が伸びていないかご確認をお願いいたします。

